

Sheet1

1610 慶長15	筑波神社別当知足院、秀忠より江戸紺屋町に寺領を賜い、光誉が住職に
1682 天和2	護国寺観音堂、綱吉の命により母桂昌院のために建立、亮賢住職に
1683 天和3	桂昌院、初めて参詣
1688 元禄1	知足院、神田橋外へ広大な寺領を得て移転 隆光が住職
1690 元禄3	綱吉、初めて参詣
1692 元禄5	護国寺、知足院、根生院並みに将軍家の祈禱を行う
1693 元禄6	綱吉、「悉地院」の額を揮毫し護摩堂に掲げられる(現在は観音堂に)
1695 元禄8	知足院、護持院と号す
1697 元禄10	綱吉の命により護国寺観音堂落慶、法要を隆光が行う 御開帳も行われる
1700 元禄13	護国寺で初の出開帳(嵯峨清涼院釈迦如来)
1703 元禄16	江戸城三の丸より神明稻荷を勧請
1704 元禄17	桂昌院、観音堂安置の三十三身像に頭髪を納める
1705 元禄18	桂昌院没し、綱吉、桂昌院位牌堂を建立
1709 宝永6	綱吉没し、寛永寺に葬られる
1714 正徳4	門前町屋に私娼増える
1717 享保2	護持院焼失し、護国寺境内に移り、護持院住職隆慶が護国寺を兼帯す
1722 享保7	護国寺住職、護持院兼帯を離れる
1723 享保8	幕府、護国寺門前音羽町の岡場所を一掃
1723 享保8	吉宗、雑司ヶ谷で鷹狩、護持院を膳所とし、観音堂に参詣
1739 元文4	吉宗、雑司ヶ谷で鷹狩、護国寺を休息所とす
1740 元文5	吉宗御成跡の観音御開帳
1745 延享2	医王院蟹清水出現本尊薬師如来、初の御開帳
1750 寛延3	地藏堂、建立
1758 宝暦8	護国寺、無住となり、再び護持院兼帯に
1761 宝暦10	このころより、山内に「西国三十三所写観音堂」造立始まる
1764 明和1	秩父三十四番観音札所の総開帳行わる
1794 寛政6	「西国三十三所写観音堂」完成す
1846 弘化3	十日間の相撲興行行わる
1868 明治1	会津戦争で敗れた会津兵を護国寺収容し護持院に長州藩兵が駐屯
1868 明治1	護持院、神仏分離令のために廃院となり、護国寺独立する
1873 明治6	陸軍省埋葬御用地が護国寺山内西よりに計画される(4月以前)
1873 明治6	明治天皇の第1皇子逝去し護持院跡地に埋葬され生母葉室光子は観音堂東に埋葬(9月)
1873 明治6	明治天皇の第1皇女逝去皇子と同じ地に埋葬され生母橋本夏子は護国寺に埋葬(11月)
1874 明治7	東京府、雑司ヶ谷旭出町墓地を開設(9月)
1875 明治8	雑司ヶ谷で陸軍大演習、明治天皇、護国寺で休息す
1926 大正15	祖師堂(旧観音堂)焼失し、旧薬師堂を祖師堂に、旧一切経堂を薬師堂にす